

練習に関するレギュレーション

本レギュレーションは、全ての出場選手が公平に練習でき、そしてトーナメント期間中により良い コースコンディションでプレー出来ることを目的に作成されている。

練習区域(練習場・練習グリーン・アプローチエリア・練習バンカー・練習ラウンドにおけるゴルフコース内)に入れるのは、選手・キャディ・帯同コーチ・メディア・プロサービスメーカースタッフ・ツアースタッフ及び適切なバッジをつけた関係者のみとする。

但し、メディア及びプロサービスメーカースタッフについては、グリーン上(練習グリーンを含む)に上がることは禁止する。

トーナメントウィーク(指定練習日～本選期間中)においては、当該大会に有資格の選手とウェイトイング選手(原則として10名まで)のみ練習施設(練習ラウンドを含む)の使用を認める。

練習は指定された場所のみ許可され、以下のレギュレーションを適用する。

1. 練習ラウンドはなるべく1人でプレーせず、3名～4名でプレーすること。
2. バンカーからのストロークを含め、グリーンに向けて打てるのは1球のみとする。
但し、以下の場合は除く。
 - (A) ショットがグリーンに乗らなかった場合はもう1球打つことができる。
 - (B) バンカー以外のグリーン周りのアプローチは、グリーンまたはコースを著しく痛めないという前提でもう1球打つことができる。但し、いかなる場合も後続組を待たせないように配慮すること。
3. グリーン上でのパッティング練習については2球以上可とする。
但し、いかなる場合も後続組を待たせないよう配慮すること。
4. コースの保護
指定練習日の練習ラウンドについては、必ずティーマークが置かれている場所からプレーすること。
(特にネットやローピング等で保護してある場所は使用不可とする)
またディポット戻し、ボールマークの修復については各自の責任において徹底すること。
その他コースやグリーンを著しく痛めるような練習(例えば、練習グリーンに線を引いたり、長時間同じ場所に立ちパッティングすること)は避けること。
5. 安全への配慮
練習場周辺に民家等があり危険な状況がある場合は、掲示をして通知するので協力すること。
また、指定打席以外からの練習は禁止する。
6. 練習ラウンドの予約
練習ラウンドは必ずマスター室に予約すること。
※予約なしでスタートした場合は、その場で練習を中止させる。
7. 練習ラウンド中の取材
練習ラウンド中に取材を受ける場合は、プレーの進行に充分注意し、後続組に迷惑をかける事のないよう注意する事。

PGAツアー競技管理委員会

委員長